



淡路より明石海峡大橋を臨む

特集

兵庫県社会福祉士会委員会インタビュー Vol.3 2

社会福祉士インタビュー Vol.3 3

兵庫県社会福祉士会 主な行事報告 4

社会福祉士とは 6

社会福祉士会の会員になろう！ 7



国家試験対策委員会活動内容

- * 社会福祉士・精神保健福祉士受験対策講座の開催
 - ・8月～10月に神戸市内で実施
 - ・兵庫県精神保健福祉士協会・社会福祉法人神戸市社会福祉協議会と共催
- * 受験対策ゼミ（自主勉強会）の開催
 - ・11月に実施
 - ・統一模擬試験の解説を通して、苦手科目や受験勉強の仕方を整理する
- * 国家試験全国統一模擬試験の開催
 - ・10月頃の開催 ・社会福祉法人神戸市社会福祉協議会【共催】
- * 社会福祉士国家試験受験対策直前講座
 - ・12月中旬に開催
 - ・受験対策講座の受講生にアンケートを実施し、苦手4～8科目を開催
- * 会員入会促進事業の実施
 - ・国家試験当日の受講生への激励とねぎらい
 - ・国家試験合格祝賀会の開催
- * 大学や養成校における社会福祉士国家試験受験対策講座
 - ・大学の講義として開催
- * 近畿ブロック社会福祉士国家試験対策委員会連絡会の開催



国家試験受験対策講座について

Q1 受験対策講座はどんな方が受講していますか？

A1 講座は社会人の方の受講が多く、仕事や家事の合間に勉強をしています。

Q1 講師は誰が担っていますか？

A1 兵庫県社会福祉士会の会員が講師をしています。県の社会福祉士会の会員だけで講座を運営しているのは全国的に珍しいことです。受講生から見ると、先輩の社会福祉士の講義を聞くことで、社会福祉士の仕事に触れることもでき、受験へのモチベーション維持にもなります。



【社会福祉士受験対策直前講座(豊岡)】



【受付準備】

Q1 講座は何科目ありますか？

A1 国家試験科目の19科目を全て実施しています。

Q1 兵庫県社会福祉士会の国家試験対策講座の特色は何ですか？

A1 兵庫県精神保健福祉士協会と神戸市社会福祉協議会と共催し運営しています。受講者は社会人の方が多いので、忙しさの中で挫折しそうなこともあるのですが、ゼミや直前講座を開催し、勉強を継続して行くことをサポートをしています。また、毎年4月に合格祝賀会を開催し、社会福祉士となった皆さんと喜びを共にしています。受験前から、兵庫県社会福祉士会のメンバーが受験勉強を応援し、合格を喜びあい、社会福祉士同志が出会う第一歩となります。

Q1 受験対策講座受講者の国家試験合格率は？

A1 平成23年度は70%・平成24年度46%・平成25年度66%で、3年間の平均は60%です。
 ※平成24年度は試験内容の改定があり、合格率が下がりましたが、全国平均の2.5倍の合格率です。(全国平均18.8%)

国家試験受験対策講座の詳細は兵庫県社会福祉士会のホームページに掲載しています。<http://www.hacsw.or.jp/>

～社会福祉専門職として社会福祉士の後進の育成を担う～



国家試験対策委員会
委員長 薄木公平さん

☆国試対策講座は兵庫県社会福祉士会の活動を知る第1歩☆

兵庫県社会福祉士会の国家試験受験対策講座は、受験対策という活動を通して、社会福祉士の社会的役割や仕事の価値を伝えています。単なる合格に向けた支援ではなく、社会福祉士になりたいと感じることができるような活動をしています。社会福祉士会とは何かを知るきっかけとして、とても良いと思います。

☆受験対策講座で社会福祉士の人材育成☆

受験対策講座で講師を担うということは、各単元の最新の正しい知識を得ること、受験者に解りやすく伝えること、モチベーションを維持してもらえるようにはたらきかけること等、様々な講師としてのスキルが必要となります。

受験対策講座の講師を会員が担うということは、兵庫県社会福祉士会の会員のスキルアップになると考えています。受講者、社会福祉士である国試対策委員、講座を担う講師それぞれがお互いに協力し合って社会福祉士の人材育成の躍を担っています

委員会のメンバーに聞きました!!

Q 国家試験対策委員会のやりがい・国家試験対策委員会の良いところは？

A

- ・委員は様々な社会福祉活動をしており、専門職としてのスキルアップを共に目指すことができます。
- ・専門職を志す人、若い人を応援・サポートする大切な機会です。
- ・国家試験に毎年関わることで、知識を忘れることがありません。
- ・仕事をしながら勉強を続ける苦勞を労いながら共に前向きに頑張るという姿勢が保てます。
- ・様々な職種の方と出会い、委員会でネットワークづくりができます。



【インタビューに答えた委員の皆様】



【平成27年1月25日 国家試験当日・国家試験対策委員のメンバーで応援しました】

委員会の今後の方向性

国家試験対策委員会は、現在の取り組みを着実に進めていきます。社会福祉士会の社会的責任として、後進育成が、社会福祉士会の発展につながり、結果として国民の福祉の向上につながります。委員会は、資格取得支援だけでなく、その視点も見据えて、今後も活動を継続していきます。

【interviewer】
広報委員会



【次回 interview】
実習教育支援委員会

2014年度 主な行事報告

基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを終えて

基礎研修とは、社会福祉士になった最初の3年間をかけて受講していく研修です。倫理綱領や行動規範の学びから始まり、相談支援のアプローチの理論や連携のあり方、社会資源の活用の仕方など、社会福祉士の専門性の基礎を身につける内容になっています。中には、権利擁護や社会福祉における法律に関するものもあります。

3年間受講することで、多くの学びとなりましたが、何より私にとって1番の収穫は、基礎研修で出会った仲間たちでした。研修は講義だけでなくグループワークの時間も多く、自然と受講生同士の関係が深まっています。研修で知り合った仲間達との関係は、研修が終わった後も続いていくと思います。

社会福祉の問題は多岐に渡っています。社会福祉士として、それらの問題と真摯に向き合う時、私はたくさんの知識と人との繋がりが大切だと考えています。

3年間の受講で多くの事柄を学ぶことが出来ました。そして、人との繋がりが想像していたよりも広がりました。基礎研修での学びと出会いを大切に、これからも社会福祉士として歩んでいきたいと思っています。

基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの一部

基礎研修Ⅰ

社会福祉士の役割・専門性 倫理綱領・行動規範の理解、実践適用、所属組織、所属組織以外のソーシャルワーク実践について学ぶ

基礎研修Ⅱ

社会資源の理解と社会資源開発、スーパービジョンについて、社会福祉における法、ソーシャルワークと権利擁護の視点、実践研究について

基礎研修Ⅲ

対人援助と事例研究、模擬事例検討会、意思決定の支援、地域における福祉活動の実際、リスクマネジメントと苦情解決システム、新人教育プログラム



インタビューに答えた神谷さん

2015年1月31日・2月1日

第22回近畿ブロック研究・研修大会 滋賀大会

「誰もが光り輝く社会を目指す社会福祉士！～もっと知りたい、伝えたい社会福祉士の活動、そして笑顔～」

大津市のピアザ淡海・コラボ滋賀において、近畿ブロック研究・研修大会が開催されました。

近畿の各府県社会福祉士会に所属する各会員の研究・実践報告を通して、社会福祉士としてどのように地域社会へ役割を果たしていくべきかを考える機会となりました。

シンポジウム『社会福祉士の変わらぬ立ち位置とは』と記念講演『医療と福祉が共に歩むということ、滋賀の障

害者福祉の実践をとおして語る』では、社会福祉士の本質とは何かということを見直していく機会となり、充実した2日間を送ることができました。次回は和歌山県で開催されます。近畿ブロックで協働で社会福祉士の研鑽を積み上げるといったことの意義を確認し、今後も社会福祉士会の発展に努めていく機会になればと思います。

2014年度 丹波市被災地支援活動報告

「兵庫県社会福祉士会・災害支援指針」に基づく支援活動として、兵庫県丹波市市島町前山地区で被災地支援活動を7回実施しました。

- 1回目：11月28日「前山コミュニティセンター」（支援員：4人）
- 2回目：12月12日「前山コミュニティセンター」（支援員：4人）
- 3回目：12月26日「こかべ台住宅集会所」（支援員：2人）
- 4回目：1月16日「前山コミュニティセンター」（支援員：3人）
- 5回目：1月29日「段宿公民館」（支援員：1人）
- 6回目：2月12日「大杉公民館」（支援員：3人）
- 7回目：2月26日「下鴨阪公民館」（支援員：2人）



活動内容は、前山コミュニティセンターや被災された方々が集まる公民館での、喫茶運営ボランティア（現地被災者）の補助でした。大規模な災害は、生活全般に長く影響していました。コミュニティ機能が保たれている多自然地域で、自助・共助のあり方を改めて勉強させていただく機会になり、この活動に参加できたことに感謝しています。今回の活動に係る費用には災害義援金を充当させていただきました。



社会福祉士とは

●社会福祉士は、みなさんの生活を、支え、守ることを目指しています。

例えば、病気、障がい、生活資金、悪質な詐欺、子育て、災害…。私たちは生きていく上で様々な困難や危機に出会います。そのような時、みなさんの生活を「ささえる」法律、制度、地域にあるサービス、必要となる情報などの専門的な知識と支援が必要になります。適切な助言をし、生活を「ささえる」チカラになることが、私たち社会福祉士の仕事です。

●社会福祉士は、みなさんの希望を尊重し、家庭環境、生活状況や心身の状態などに配慮しながら、みなさんにとって最も良い方法で支援します。

「社会福祉士とは、社会福祉士の名称を用いて、専門的知識及び技術をもつて、身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行うことを業とする者」

「社会福祉士及び介護福祉士法」第二条(定義)より



学校

スクールソーシャルワーカーとして、教育機関に所属し、学校、家庭、地域のネットワークを通して子どもたちの支援を行っています。

独立型社会福祉士事務所

まちかどのソーシャルワーカーとして事務所を開設し、県民、事業所等からの相談に対応しています。



成年後見人として

高齢の方や障害のある方の成年後見人として、財産管理や福祉サービスの利用の支援をしています。

社会福祉士はどこにいるか、ご存知ですか？

実はみなさんのすぐ身近にいます。
私たちは福祉の相談や支援の仕事をしています。

社会福祉士会の会員になろう！

社会福祉士の資格取得は専門職としてのスタートラインです。資格取得後も自己研鑽をつむことが重要です。

社会福祉士会では、研究誌『社会福祉士』への投稿や、研修会・大会等への参加など、スキルアップの機会が豊富に得られます。

また、日本社会福祉士会ニュースや兵庫県社会福祉士会機関誌などを通じて、福祉分野の様々な情報や、各地で活躍する社会福祉士の実践を知ることができます。

一人一人の力は小さくても集まれば大きな力になります。会員それぞれの抱える多様な問題に対して、会全体で取り組むことで新しい福祉の在り方を見出すことができます。みなさんも会の活動を通して、多岐にわたる分野で活躍している“社会福祉士”のネットワークに参加してください。

医療機関

医療機関で治療を受ける際、医療保険や医療費の説明をしたり、不安を受け止めるお手伝いをしています。



福祉施設等

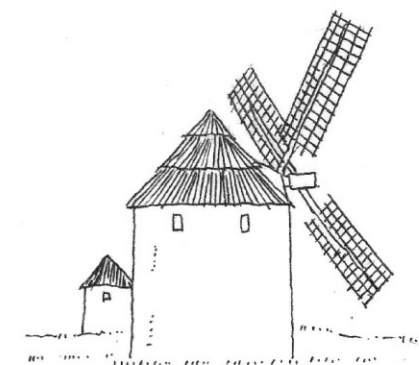
子どもたち、障がいのある方、高齢者の方等が生活している福祉施設での生活支援や、施設から出て地域で生活するための支援をしています。

地域包括支援センター

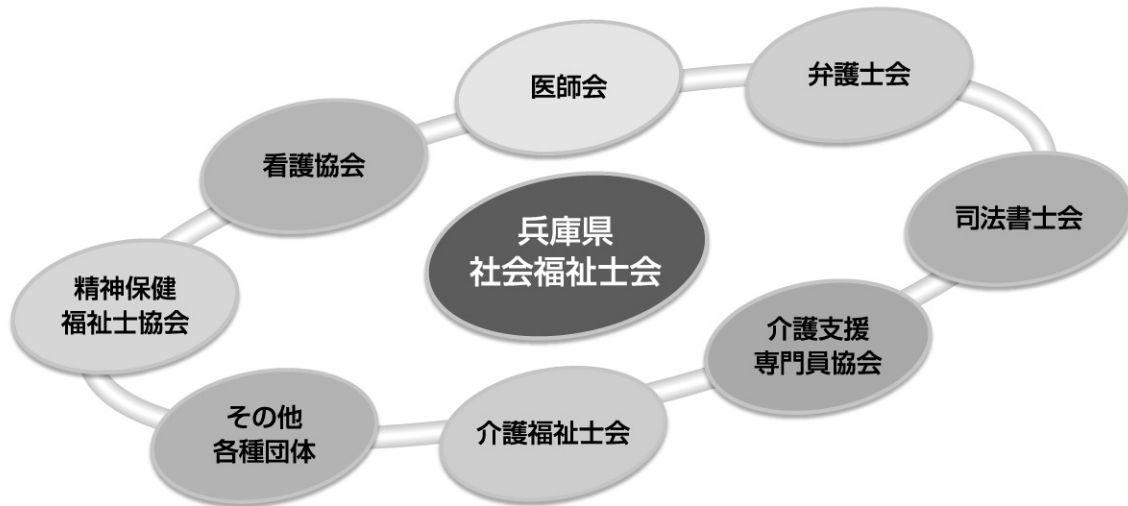
介護で困ったことがあれば、総合的な相談を受けたり、介護保険の手続きのお手伝いをします。

市町や社会福祉協議会の福祉相談窓口

市町や社会福祉協議会の福祉相談窓口にて、お話をしっかり聞いて最も適した福祉サービスを紹介しています。



よりよい支援のために、県内他の専門職団体とも連携・協力しています！



■兵庫県社会福祉士会の事業内容■

事業活動

- * 社会福祉に関する情報提供及び相談事業
- * 権利擁護に関する相談事業
- * 成年後見・後見監督に関する事業
- * 社会福祉士等の養成支援に関する事業
- * 地域包括支援センターへの支援に関する事業
- * 社会福祉従業者研修に関する事業
- * 生活困窮者支援に関する事業
- * 高齢者虐待・障害者虐待防止等に関する事業
- * 児童虐待防止・子育て支援等子ども家庭支援に関する事業
- * 福祉サービスの質の向上のための評価に関する事業
- * 社会福祉及び社会福祉士に関する調査研究事業
- * 県・市町村の福祉計画への参画・提言
- * その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

圏域によるブロック活動

- * 神戸ブロック * 阪神ブロック * 東播ブロック
- * 淡路ブロック * 西はりまブロック
- * 但馬ブロック * 丹波ブロック

■現在の会員数 1,442 名 (2015 年 2 月末現在)

委員会活動

- * 生涯研修センター
- * 福祉相談センター「ここねっと兵庫」
- * 研修委員会
- * 調査研究委員会
- * 国家試験対策委員会
- * 相談委員会
- * ソーシャルワーク研究委員会
- * 高齢者虐待対応委員会
- * ぱあとなあ兵庫
- * 地域包括支援センター支援委員会
- * こども家庭支援委員会
- * 実習教育支援委員会
- * 障がい福祉委員会
- * 更生支援委員会
- * 独立型社会福祉士支援委員会
- * 地域移行支援委員会
- * 生活困窮者支援委員会
- * 広報委員会

一般社団法人 **兵庫県社会福祉士会**

〒651-0062

神戸市中央区坂口通2-1-1

兵庫県福祉センター5F

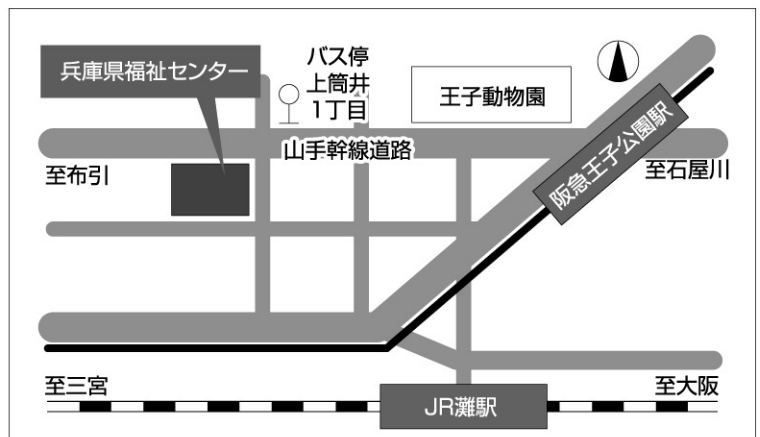
電話：078-265-1330

FAX：078-265-1340

※月～金曜日の9:00～17:00の間で対応させていただきます。

ホームページアドレス <http://www.hacsw.or.jp/>

メールアドレス syadanhyogo@hacsw.or.jp



- 阪急王子公園駅下車歩10分
- JR灘駅下車歩10分
- 市バス90・92系統 上筒井1丁目徒歩1分